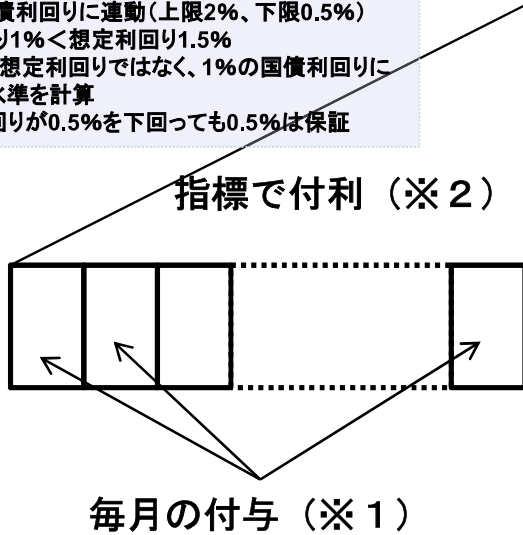


キャッシュ・バランス方式の給付設計と財政運営のイメージ

給付設計

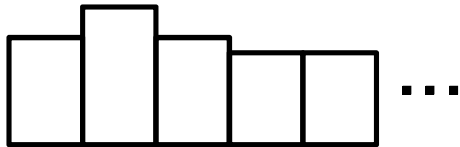
- (例)
- 指標は国債利回りに連動(上限2%、下限0.5%)
- 国債利回り1% < 想定利回り1.5%
→ 1.5%の想定利回りではなく、1%の国債利回りにより給付水準を計算
- ※ 国債利回りが0.5%を下回っても0.5%は保証



仮想個人勘定

- (例)
- 年金額を計算する際の利率も、指標と同様国債利回りに連動

- 仮想個人勘定 ÷ 現価率で年金化
・ 利率、死亡率の仮定 (※2)
- 毎年年金額を改定することも可能



財政運営

- (例)
- 保険料を設定する際の想定利回り1.5%

- 給付に要する費用の予想、運用収入の予想等を踏まえて掛金設定 (※2)
- 少なくとも5年に一度財政再計算を実施
- 決算・財政検証、給付設計見直しの必要性の検討、償却計画の作成 など

※1. 各月の付与は掛金と一致するとは限らない。
 ※2. 指標、年金化の現価率計算の予定利率、掛金計算(財政運営)上の予定利率などは、一致するとは限らない(合理的であれば異なる設定で良い)。